

令和 7 年第 3 回定例会・一般質問

○日 時 令和 7 年 9 月 1 0 日（水）午前 9 時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質 問 者	質 問 の 要 旨	開始 時間
1	大河原 昭洋	1. 智頭林業の現状と今後の展望について（山村再生課） （1）林業は「まちの基幹産業」として、地域活性化の核となるものである。林業振興の取り組みを加速度的に進めていく上でも、現状を把握することが重要と考えるが、どのように捉えているのか。 （2）2020年3月に「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」が策定されて5年が経過している。数値目標が定められていない中、進捗状況をどのように把握し検証しているのか。 （3）令和3年12月定例会の一般質問でＪークレジットの推進について質問しているが、間伐を進める本町の林業形態に合わない、煩雑な事務作業があるという答弁であった。本町の持続可能な林業振興を推進するためにも、この取り組みを再度検討する考えはないか。 2. 佐治漆を活用した産業振興について（企画課） （1）本町に在住し漆工房を営む方が、令和7年3月に漆器分野で鳥取県の伝統工芸士に認定された。この「佐治漆」を使った漆器は貴重な文化遺産ではあるが、これを新たな産業として創出する考えはないか。	9:00
2	谷口 雅人	1. 集落、町内会集会施設の稼働率向上について（総務課・福祉課） （1）各集会施設にエアコン設置補助は有効と考える。補助を行う考えはないか。 （2）町内に存在する社会資本の一つである施設の機能向上は集落、町内会、地域、町全体の活性化に寄与すると考えるがどうか。 （3）百歳体操、いのちの貯蓄体操などの提案、普及を通じ、具体的には体力の維持、向上、認知症予防にも寄与すると考えるがどうか。	9:45

質問 順位	質 問 者	質 問 の 要 旨	開始 時間
3	西尾 寿樹	1. 林業振興について（山村再生課） （1）本町の基幹産業である林業の独自振興施策に取り組むと第7次総合計画にあるが、どのように考えているのか町長の所見を問う。 （2）国や県は、皆伐・再造林を進めていく方針であるが、智頭町としての考えと方向性について問う。 （3）皆伐・再造林への補助金を活用するためには、作業道の開設が困難な急傾斜地への架線集材方式の復活を検討する考えはないか。 （4）智頭町では杉の苗を育成してきた実績がある町有地の苗畑を、複業協同組合と連携して有効活用する考えはないか。 2. 林業を活用した観光振興と人材育成について（企画課・教育課・山村再生課） （1）「林業景観の町」智頭町として、森林を活かした新しい観光振興のため、映像による情報発信を検討する考えはないか。 （2）林業の人材育成を進めたい智頭町とインドネシアとの交流を推進することにより、林業従事者の人材確保と智頭農林高等学校の生徒の確保ができると思うが町長の考えを問う。	10:35

質問 順位	質 問 者	質 問 の 要 旨	開始 時間
4	岡田 光弘	1. 動く役場機能について（総務課・企画課） 少子高齢化、人口減少社会が急速に進行するなかで一定の行政サービスを維持していくためには、行政自らが動いて住民のところに出かけていくような能動的な動きが今後ますます必要になってくると考えられる。住民サービスを維持・発展させていくために智頭町として今後どのような取り組みを展開していくのかその姿勢を問う。 (1) 今後想定される人口減少社会に対応し、本町として限られた人材で住民サービスを維持していくために、基本的にどのように取り組んでいこうとされるのか。 (2) コネクテッドカーの導入は動く役場の姿勢の表れであると理解するが、現状はどうか。また、今後の有効活用策を検討できないか。 (3) デジタルとアナログの融合、コネクテッドカー、告知端末、スマホと住民を結び、智頭らしい人口減少社会に対応する住民サービスの将来像は描けないか。 2. 農村環境の今後について（山村再生課） 少子高齢化が進む中で、農業の担い手不足とともに、農村環境をどのように維持していくかが大きな課題となっています。今後本町の農業と農村環境を守る方策について伺う。 (1) 休耕田が耕作放棄地となり、荒廃地となっていくのにはある程度の時間的経過と段階があると考えるが、本町としてどのように取り組んでいくのか。 (2) 農業従事者の減少とともに、水路の維持、管理が大きな課題となっている。水路の公益的機能を評価し、公的支援を拡充できないか。 (3) 智頭町らしい、スマート農業の展開は模索できないか。	11:10

質問 順位	質 問 者	質 問 の 要 旨	開始 時間
5	波多 恵理子	1. 智頭町健康増進計画について（福祉課） （1）次期智頭町総合計画の策定に伴い、智頭町健康増進計画（健康ちづ21）の見直しも行われると思うが、前回の策定から9年経ち住民を取り巻く健康状況も変わってきていると思う。新たにどのような取り組みを推進していく考えか町長の所見を問う。 （2）今では日本人に2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われている。がんでの死亡率を減らすためには早期発見がとても重要である。早期発見のためには、がん検診受診者数を増やすことが有効と考えるが、検診受診率向上対策について問う。 （3）「乳がん」「子宮がん」といった女性特有のがんが低年齢化している。子宮頸がんは20代後半から、乳がんについては30代後半から増えているが、若い世代に正しい知識を持っていただくための啓発活動や、女性が受診しやすい環境づくりに向けた取り組みについて所見を問う。	13:00
6	仲井 茎	1. 一人ひとりの人生に寄り添うまちづくりについて（企画課） （1）二期目の就任を迎えてから現在に至るまでの町民との対話（座談会や各種団体との意見交換会）の進捗を問う。 （2）次期総合計画策定に向けて行うワークショップを開催するまでに、各地区に出向いて総合計画についての説明会を行う考えはないか。	13:35
7	谷口 翔馬	1. ふるさと納税について（総務課・企画課） （1）自主財源の確保として、ふるさと納税・企業版ふるさと納税をさらに強化することが大事だと感じるが町長の所見を問う。 2. 広報戦略について（企画課） （1）本町の施策を、よりわかりやすく情報発信するため、体制強化が必要だと考えるが町長の所見を問う。	14:15

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。